



第32回小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和4年6月17日に開催された「第32回小樽開発建設部総合評価審査委員会」の審議概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
技術管理課長 田中 学 (0134-23-8305)
技術管理課長補佐 ^{はぎはら} 穂原 浩 (0134-23-8305)



第32回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	令和4年6月17日（金） 小樽開発建設部 第1会議室
委員長	穴沢 眞（小樽商科大学学長）
委員	高野 伸栄（北海道大学工学研究院 教授）
〃	八木 宏樹（小樽商科大学名誉教授）
〃	山本 泰司（北海道科学大学工学部 教授）
議 事	<p>【審 議】</p> <p>工事の審査について</p> <p>① 小樽港 岸壁（－10m）工事</p> <p>② 一般国道5号 仁木町 仁木トンネル工事</p> <p>③ 一般国道393号 小樽市 朝里川温泉舗装補修外一連工事</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p>【1 審 議】</p> <p>令和3年7月1日から令和3年12月31日までに契約した工事の中から抽出された3件について工事概要説明及び審議を行った。（以下、入札参加者の提案またはその評価に係わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載していません。）</p>	
○小樽港 岸壁（－10m）工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートの品質管理について、通常の施工と思われる提案が評価されているが、どういう基準で評価できると判断しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案の施工方法により、通常以上の品質向上が可能となると判断したためです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業船の保有状況を評価しているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業船は年々減少しており、工事の円滑な実施及び品質確保のため、企業に作業船の保有を促す目的です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者により提案の内容が大きく異なっているが、同じ工事なら提案も似てくるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマの設定が幅広かったため、異なる提案内容になったと考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ この工事は入札参加者が2者だが、この数は一般的なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常よりも少ないと思われます。当工事が深層混合処理を行う特殊な工事であること、開札が6月であり技術者の確保が難しかったことが要因と思われます。

意見・質問	説明・回答
○一般国道5号 仁木町 仁木トンネル工事	
<ul style="list-style-type: none"> トンネル掘削時の地山変位抑制対策に関する提案でオーバースペックを求めることになっていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案が全体的なコスト増になるとは考えていません。また、目的や施工範囲が明確であり、オーバースペックとはならないと考えていますが、施工の段階でどの程度コスト増となるのか業者と意見交換は進めて行きたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスの評価については試行的に入れている項目なのか、規模の大きい工事に入る項目なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般土木工事及び建築工事のWTO対象工事は入れることになっています。規模の小さい工事には適用されていません。
<ul style="list-style-type: none"> 入札価格が非常に似通っているが、公表資料で精度良く積算できているということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 公表している資料で精度良く積算できていると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> 2段階選抜で12者から10者に企業が選抜されているが、その数はその都度変わるものなのか。もう少し絞り込んでもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 公告資料で10者程度としており、全国的にもWTO工事では10者が一般的です。
○一般国道393号 小樽市 朝里川温泉舗装補修外一連工事	
<ul style="list-style-type: none"> アスファルト舗装の温度管理の提案について、標準仕様の温度管理と変わらないと思われるのに評価されている者があるがこれはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該者は標準仕様以上の温度管理の工夫をしていると判断したため評価しています。